

第4章



施策の展開

共創



具体的施策

- 町民と来遊者との多様な関係性の構築
イベントスタッフなど多様な関係性の構築による共創の促進
- 農水産関係者と観光事業者の連携の強化
地場産品の供給と積極的活用の促進
直売機能や直売イベントの強化促進
- 教育機関との連携の強化
歴史文化の掘り起こしと学習機会の提供
- 宿泊業と飲食店の連携の強化
泊食分離への対応の強化
地場産品を活用した新メニューの開発
- 大型施設や神社仏閣との連携
アクアワールド大洗、めんたいパーク等とのパック商品の開発
神社ご祈祷における一般参加とコラボ商品の提供
- 広域連携の強化
官民含めた広域連携による事業の推進

魅力発信



具体的施策

- 歴史や文化に触れるまち歩き事業の促進
- SNSの活用
 - 在住者を含むSNSの活用による情報の発信
 - インフルエンサー、ブロガー等による情報の発信
- 五感リトリート・リラックス・ヘルスリゾートの推進
 - 自分と向き合う旅の提供（瞑想とヨガ）
 - ・新たなアイテムを活用したリラックスリゾートの提供
 - ・需要増大の一人旅の対応の強化
- 体験型アクティビティの充実
 - 地域資源を最大限に活用したアクティビティの開発
 - アクアワールド大洗の新たなアクティビティの展開
 - 漁業及び農業へ理解を含む体験活動の推進
 - 大洗海の大学を中心とした体験活動の推進
- 2つの海岸の利活用
 - 多様な生物の生息する大洗海岸等における環境学習、体験学習観光の推進
 - 新たなビーチ文化の創造拠点としてのサンビーチ活用促進
 - リフレクションビーチ、ユニバーサルビーチの促進
- 観光港としての大洗港とマリーナの活用
 - クルーズポート、フェリーポートとしての振興促進
 - ビルフィッシャー対応カジキミュージアムの充実

具体的施策



Traditional

Universal

Cool

Alternative

環境

- 豊かな水辺空間（海岸、湖岸など）の保全や、松並木に代表される緑の保全
- 景観形成重点地区の整備促進と賑わいづくりの強化
- 観光案内機能の強化
 - ・大洗駅周辺整備に伴う観光案内機能強化
 - ・案内サインの多言語化
 - ・Wi-Fi等の通信環境整備
 - ・アプリを使った施設案内
- ユニバーサルツーリズムの推進
 - ・外国人を含む多様な客体に対応した観光地域づくり
 - ・宿泊施設等のユニバーサル対応の促進
- 2次交通網の整備
 - ・成田空港や茨城空港からのアクセスの強化
 - ・レンタカーなどの充実

具体的施策



Traditional

Universal

Cool

Alternative

食

- 地元農水産品の地域内消費の促進
 - ・地域文化に根ざした“土産土法”の促進
 - ・宿泊施設での歳時記にあわせた料理の提供
- 宿泊施設と飲食店の連携
 - ・泊食分離による宿泊者の飲食店への誘導
- 食の体験プログラム
 - ・地元食材を使った料理教室（仕入れから調理飲食まで）
- 魚介類のブランド化の促進
 - ・東京・大阪などのブランド店等における売込み
 - ・干物のブランド化
- 地元食材を活用したスイーツの提供
 - ・当地ソウルフード（たらし、みつだんご等）食の提供促進
 - ・サツマイモに代表される地元食材を使ったスイーツの提供

具体的施策



Traditional

Universal

Cool

Alternative

おもてなし

○おもてなし運動の推進

- ・誰もが心地良く過ごせるように心をこめて接し、思いやりを持って対応する
- ・町民がお互いを尊重し合い、町に対する誇りと愛着を持ち、来訪者を温かく受け入れる
- ・町の自然、歴史、伝統、文化に対して町民一人ひとりが理解を深め、町に対する誇りと愛着を持って推進する

○わが町こだわりのおもてなし

- ・大洗は新鮮な食材や、太平洋、潟沼などの地域資源に恵まれ、独自の食文化と生活文化を持っている
- ・大洗の魅力を大洗の言葉や体験を通して伝えていくことは、来遊者の記憶に残る大切なおもてなしとなる

○具体的な取り組み

- ・さわやかあいさつ、声かけ運動
- ・美しい環境づくり
- ・誰にでも優しいまちづくり
- ・大洗ならではのおもてなし
- ・おもてなし
- ・人材育成、スキルアップ